

なんぶメール

ご自由にお持ちください

済生会横浜市南部病院 広報誌

CONTENTS

- 院長挨拶 2 ページ
- 南部病院 30 年のあゆみ
- 南部病院開院 30 周年記念事業のお知らせ
..... 3 ページ
- 「神奈川県がん診療連携指定病院」に指定されました
..... 4 ページ
- ピアサポートを始めます！
- ももの会が2周年を迎えました！ 6 ページ
- 新所属長紹介 7 ページ
- お薬立ち情報 8 ページ
- 美味しく食べる食事療法 9 ページ
- かかりつけ医をもちましょう 10 ページ
- 【根岸線全線開通 港南台駅・本郷台駅】
開業 40 周年記念イベントに南部病院も参加
..... 11 ページ
- 紹介外来制・紹介患者予約制度のご案内
- イベント情報 12 ページ

30th anniversary

南部病院は
今年30周年を
迎えます！

神奈川県
がん診療連携指定病院
に指定されました

南部病院の理念

私たちは、医療の質の向上をめざし常に努力します
私たちは、患者さんの人格、意志を尊重します
私たちは、地域の要望に対応した医療・保健・福祉サービスの充実を図ります
私たちは、互いに信頼し、感謝する心で働きます



医療・地域・保健で 30 年 これからも皆様と共に歩みます

社会福祉法人 済生会横浜市南部病院



「みんなの演奏会 II」宮島 永太郎
小児がん征圧キャンペーン「生きる」チャリティーコンサート
ポスター原画（当院に寄贈され、小児科外来に設置）

30th anniversary 社会福祉法人 恩賜財団 済生会横浜市南部病院は 今年 30 周年を迎えることができました！



社会福祉法人 恩賜財団 済生会横浜市南部病院は昭和 58 年 6 月 10 日に開院して以来、地域住民の方々のご支援の下で、横浜市南部地域における中核病院としての役割を果たしつつ、無事に 30 周年を迎えることとなりました。皆様に心からお礼申し上げます。

開院当初は 16 標榜科・191 床で診療を開始し、3 年後には ICU・CCU8 床を開設して 500 全床オープンしました。現在は、500 床・27 診療科を標榜するに至っています。

横浜市救急指定病院、神奈川県災害拠点病院、横浜市小児救急拠点病院、臨床研修指定病院、地域医療支援病院、DPC 病院等として多くの役割を担ってきました。最近では、神奈川県がん診療連携指定病院や産科拠点病院準備病院としての認定を受けたところです。

また、日本医療機能評価機構からも高い評価を受け、安全で質の高い医療を市民の皆様に提供できるまでに成長しました。

30 周年の節目を迎えるにあたり、済生会の役目として生活困窮者医療への積極的援助を推進することを始め、地域医療にも十分に貢献し、更なる飛躍を遂げるよう頑張りたいと思っています。

さらに、5 月から患者さんをはじめ皆さま方に南部病院から診療や医療情報などをわかりやすくお伝えするための広報誌「なんぶメール」を充実させ、発行することになりましたので、どうぞご覧いただきたいと思います。

今後とも皆様方の変わらぬご支援・ご指導をよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 恩賜財団 済生会横浜市南部病院
院長 今田 敏夫

南部病院 30 年のあゆみ

昭和 48(1973)年 11 月	横浜市「三方面別総合病院整備計画」策定
昭和 56(1981)年 7 月	病院建設工事着工
昭和 57(1982)年 9 月	「恩賜財団済生会横浜市南部病院」正式名称決定
昭和 58(1983)年 6 月	横浜市地域中核病院第 1 号として開院
昭和 58(1983)年 8 月	救急指定病院認定
昭和 61(1986)年 6 月	ICU・CCUオープン、 (合計 500 床フルオープン)
平成 5(1993)年 6 月	南部病院開院 10 周年記念式典
平成 6(1994)年 11 月	在宅支援サービスセンター開所 (12 月事業開始)
平成 7(1995)年 1 月	在宅支援サービスセンター名称変更 (横浜市港南台地域ケアプラザ)
平成 7(1995)年 3 月	地域医療連携システム開始
平成 9(1997)年 3 月	済生会南部訪問看護ステーション開所
平成 10(1998)年 3 月	神奈川県災害医療拠点病院の指定
平成 12(2000)年 4 月	第 1 回南部病院コンサート開催
平成 14(2002)年 6 月	オーダリングシステム開始 ※医師が電子画面上で検査・画像・処方箋に関する指示を出すことができるシステム
平成 15(2003)年 6 月	南部病院開院 20 周年記念式典
平成 15(2003)年 9 月	地域医療支援病院承認 (横浜市内で最初)
平成 17(2005)年 3 月	MR 棟増築工事竣工
平成 17(2005)年 4 月	横浜市小児拠点病院の指定
平成 17(2005)年 11 月	日本科学技術連盟「医療の質奨励賞」受賞
平成 20(2008)年 4 月	外来処方の全面院外処方化実施
平成 20(2008)年 6 月	紹介外来予約制開始
平成 21(2009)年 3 月	日本医療機能評価機構「病院機能評価」v5.0 認定
平成 21(2009)年 5 月	電子カルテ導入
平成 22(2010)年 4 月	横浜市二次救急拠点病院(A)体制開始
平成 23(2011)年 4 月	東日本大震災の被災地へ医療救護班派遣(4月～6月、延 9 回 29 人)
平成 23(2011)年 3 月	第 100 回南部病院コンサート開催
平成 23(2011)年 7 月	CT 更新(320 列エリアディテクター CT)
平成 23(2011)年 9 月	救急診療科開設
平成 24(2012)年 4 月	看護外来設置
平成 24(2012)年 4 月	横浜市産科拠点病院準備病院指定
平成 24(2012)年 7 月	8 階西病棟に無菌治療室を設置
平成 24(2012)年 9 月	ベトナムのダナンがん病院へベッドを寄贈(12 月感謝状受領)
平成 25(2013)年 6 月	南部病院開院 30 周年記念式典



開院 30 周年記念事業のお知らせ

【市民公開講座】

日 時：6 月 1 日(土) 午後 1 時～4 時
場 所：港南区民文化センター ひまわりの郷(上大岡)
内 容：パネルディスカッション「明日への医療～急性期病院から在宅へ～」
講演会「家族の絆～感謝の気持ちを言葉にしよう～」
講 師：荒木由美子氏(歌手、女優)
申し込み方法：定員 300 人(先着順：会場に直接ご来場ください) 入場無料
お問い合わせ：南部病院 地域医療連携室 TEL：045-832-1111(代)

【南部病院ジョイントコンサート】

日 時：6 月 15 日(土) 午後 2 時～
場 所：南部病院 1 階待合ホール
出 演：洋光台男声合唱団、港南台サウンドオブジョイ(女性コーラス)、歌とピアノ
お問い合わせ：南部病院 経営企画課広報担当 TEL：045-832-1111(代)



荒木 由美子 氏

※今回ご紹介した以外のイベントは、本誌 12 ページをご覧ください。

「神奈川県がん診療連携指定病院」 に指定されました！

済生会横浜市南部病院は、平成 25 年 4 月から「神奈川県がん診療連携指定病院」に指定されました。



「神奈川県がん診療連携指定病院」とは、専門的ながん医療の提供を行うとともに、がん診療の連携体制の整備、がん患者に対する相談支援、情報提供等を行う病院で、国の指定する「地域がん診療連携拠点病院」に準ずる病院として、神奈川県が指定するものです。

当院は、①集学的治療（高度な医療の提供から緩和医療まで）②診療体制の充実③地域連携（切れ目のない医療）を目標に掲げ、がん診療の質の向上を図っていきます。



指定書を受け取る池副院長

がん診療連携指定病院の役割

診療機能

1. 集学的治療の提供

がん診療連携指定病院では、5 大がん（肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん）について集学的治療および緩和ケアを提供します。集学的治療とは、手術、放射線療法、化学療法を効果的に組み合わせた治療です。

当院では、5 大がん以外にも集学的治療を行っています。

2. 患者さんのサポート

当院では、緩和ケアチームによる診察が受けられます。また、患者家族会（ももの会）があり、患者さんとその家族同士が語り合える場を提供しております。管理栄養士や薬剤師からのレクチャーも受けられます。

3 月 29 日から、乳がんの患者さんに対するピアサポートが開始されました。「ピアサポート」とは、同じような境遇やよく似た体験を持つ者同士が助け合うことを意味します。ここでは、がん体験者ががん患者さんご家族をサポートします。

ももの会…… 毎月第 1 木曜日（午後 2 時～）
 ≪MR 棟会議室≫
 ピアサポート… 毎週金曜日（午前 11 時～午後 4 時）
 ≪看護相談室≫ 予約不要・相談無料

3. 地域連携体制の充実

地域連携クリニカルパスは手術を行う専門病院と、総合的診療を行うかかりつけ医の先生方と連携を取り、共同診療体制を構築することを目的にしています。

当院では、5 大がんの地域連携クリニカルパスを運用し、子宮頸がんの運用も予定しています。

また、がん治療中の口腔内の合併症を予防軽減し、患者さんが安心してがん治療を受けられることを目的に、口腔ケアをがん治療に導入する取り組みを行っています。それに伴い当院では口腔ケア連携クリニカルパスを作成、手術や化学療法を受ける患者さんを対象に運用開始しています。

4. セカンドオピニオン外来

セカンドオピニオンとは、診断および治療法について、主治医以外の第三者の医師が提示する医療上の意見のことです。

当院では、各診療科の専門疾患でセカンドオピニオンを受け付けています。ご希望の方は地域医療連携室までご連絡ください。

045-832-8337（直通）または 045-832-1111（代表）

5. 臨床研究

現在、がん治療の標準化、治療成績の向上を目指して、他施設共同臨床試験が行われています。当院では、大腸がん、胃がん、成人白血病、小児白血病の分野で積極的に参加しています。

研修体制

6. 緩和ケア研修会（医師、看護師、薬剤師対象）

がん医療に携わる医師、看護師、薬剤師を対象とした緩和ケアに関する研修会（PEACE 研修会）を開催しています。本年度は 7 月 13 日（土）、14 日（日）に開催予定です。

7. 地域医療機関との 合同カンファレンス・研修会開催（医師対象）

合同カンファレンスでは連携した患者さんの治療方針や経過などの情報交換・検討を行います。また、地域医療機関の医師を対象にした早期診断、がんの副作用対応などの研修会を開催します。

情報提供体制

8. 福祉医療相談室・看護相談室による情報提供

医療費や診療連携の相談を医療ソーシャルワーカーが応えています。

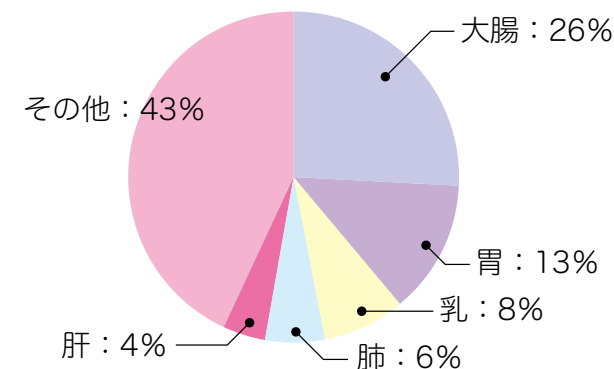
また、がんの専門知識を持った看護師（専門看護師、認定看護師）が患者さんやご家族からの療養生活上の相談をお受けします。

9. 院内がん登録

当院では、2007 年より院内がん登録を実施しています。当院でがん診断・治療を行った患者さんについて、がんの診断、治療、予後に関する情報を登録しています。それにより、当院におけるがん診療の実態を把握し、がん診療の質の向上とがん患者さんの支援を目指しています。

2012 年院内がん登録件数

大腸がん	264 件	胃がん	131 件
乳がん	79 件	肺がん	63 件
肝がん	41 件	その他	456 件
総数		1034 件	

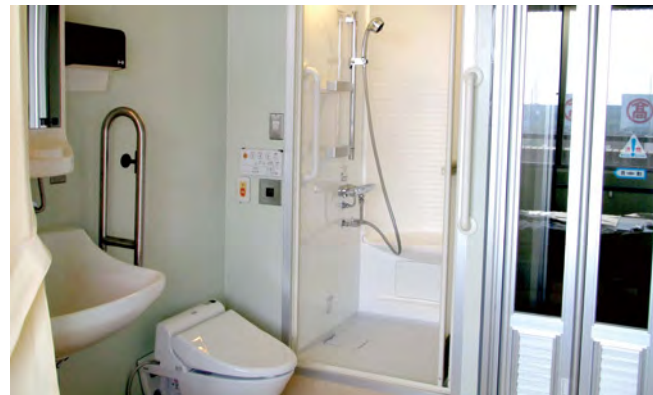


診療施設

10. 無菌治療室

無菌治療室は県内有数の 11 床を有しており、2013 年に開始予定の移植治療にも対応可能となっています。

また、平成 23 年末に小児専用の無菌治療室が 3 床整備され安全で確実な治療が可能となっています。



無菌治療室

11. 外来化学療法室

外来化学療法室には 13 床のベッドを設置し、消化器がん、乳がん、悪性リンパ腫、卵巣がん、前立腺がん、肺がんなどの化学療法を行っています。

12. 320 列エリアダテクターCTの導入

320 列エリアダテクター CT を導入し、低被爆と高画質を両立させたがんの診断を行っています。



320 列 CT

がん体験者による ピアサポートを始めました！

がん患者さんの
ための

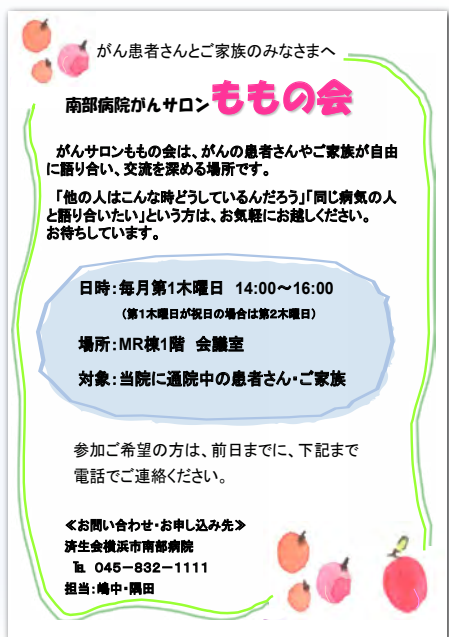


ピアサポーターのみなさん
左から倉町看護師、岸本理恵さん、田沢百合子さん

みなさんは、「ピアサポート」という言葉をご存知ですか？ピアサポートは、同じような境遇やよく似た体験を持つ者同士が助け合うことで、ここでは、がん体験者の方が、不安や心配を抱えたがん患者さんを支援していくことを意味します。3月29日から、当院でも乳がんの患者さんに対するピアサポートを始めました（今後は他のがん患者さんにも対象を広げていく予定です）。ピアサポーターの方は3名いらっしゃいます。ネームカードのストラップがピンク色なので、みなさん覚えてくださいね。

（看護相談室 嶋中 ますみ）

南部病院がんサロン「ももの会」が 2周年を迎えました！



2年前の桃の節句3月3日にオープンした「ももの会」が2周年を迎えました。毎回8～10名の方が集まり、病気や治療のこと、ご家族のことなど色々なお話をしています。同じ体験をしているからこそ「私もそうだった」「その気持ち、わかる、わかる」という言葉がお互いの心にじんわりしみていくのだなということを見ていて感じます。

また、管理栄養士や薬剤師も参加し、くつろいだ雰囲気の中で話をしていただくと、普段気になっていることが沢山聞けると参加者の方からは好評です。「ももの会」は毎月第1木曜日（14:00～）にMR棟会議室で開催していますので、お気軽にお越しください。

（看護相談室 嶋中ますみ）

新所属長紹介

形成外科 医長 長西 裕樹（ながにし ひろき）

平成25年4月より形成外科医長として着任しました、横浜市大平成13年卒の長西裕樹と申します。南部病院を訪れるのは医学部6年以来でしたが、卒業後12年間のうち10年を横浜市大附属2病院で勤めていたり、慶応大に旧知が多いため、ほとんどの診療科にかつての指導医、顔見知り・知人の知人の先生がおられ、アットホームに感じています。

50年以上も前に定められた「形成外科」という単語には、身体部位や臓器を示す字が含まれません。一般市民にとっては、どのような病気の治療が専門の科なのか想像しにくいのが実情でしょう。一言でいえば、失われた体の形を回復するための手術を行う科です。形が気になる場所として、衣服で隠しにくい顔（特に眼・鼻・口・耳）や手を扱うことが多いのですが、乳房や臍などの凸ったり凹んだりしている部位も担当します。

私は、これまで大学病院だけでなく、救急救命・小児・美容の専門施設に勤務したこともあり、幸運にも形成外科が担当し得る領域のほぼ総てを習得してきました。顔面の先天奇形・悪性腫瘍・外傷や神経麻痺による変形、眼瞼・眼窩・涙道の疾患については、特に専門家として自負しておりますので、安心して受診していただければと存じます。また、常勤医2名に増員されたこともあり、これまで大学病院で開発、施行されてきた乳癌や頭頸部癌の切除後再建、四肢リンパ浮腫の治療も南部病院で受けることができるように体制を整えてまいります。形成外科がもっとお役に立てることを皆様に認知していただけるよう一層努力して参りますので、お見知りおきのほどお願い申し上げます。



【形成外科 担当医】医長：長西 裕樹 医員：開田 恵理子 非常勤：佐武 利彦



泌尿器科 部長 鈴木 康太郎（すずき こうたろう）

平成25年4月1日より泌尿器科部長に就任しました鈴木康太郎です。地域医療に少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思っております。

これまでに、横浜市立大学附属病院、虎の門病院、秦野赤十字病院、横浜赤十字病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、大田区総合病院、横浜南共済病院、川崎市立井田病院にて経験を積ませていただき、現在に至っております。また、その間に泌尿器科専門医・指導医、泌尿器内視鏡手術技術認定医、日本がん治療認定医の資格を取得しております。

治療を受けられる方、一人ひとりに最も適した治療を提供したいと考えながら、日々の診療を行っております。手術を含めた治療の低侵襲化やより良い治療成績を目指すことも含め、南部病院にかかってよかったと、後々も思っていたいただけるような温かい医療を提供していきたいと思っております。至らぬ点多々あるとは思いますが、よろしく願いいたします。

○趣味：あまり趣味らしいものがないのですが、最近、園芸を始めました。まだまだ失敗続きです。

【泌尿器科 担当医】部長：鈴木 康太郎 担当部長：川上 稔史 医員：柳澤 昌宏

皮膚科 部長 高江 雄二郎（たかえ ゆうじろう）

はじめまして。2013年4月より皮膚科部長として赴任いたしました、高江雄二郎と申します。慶應義塾大学医学部を卒業後、皮膚科に入局し研修を行い、埼玉医大総合医療センター皮膚科への出向を経て、今年3月まで、慶應義塾大学病院皮膚科に勤務していました。神奈川県内の病院での勤務は、研修医時代に平塚市民病院で短期間勤務させていただいて以来です。

当院皮膚科は常勤医師が私を含め3人おり、アレルギーの精査や外来日帰り手術、入院手術、感染症の入院治療などあらゆる皮膚疾患に対応することができます。近隣の皮膚科の先生との連携を深め、地域の中核病院の皮膚科の役割に貢献できるようがんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【皮膚科 担当医】部長：高江 雄二郎 医員：崎山 とも 医員：平井 郁子



お薬立ち情報!!



薬剤師 平間 盛吾

今回より、お薬に関する薬立つ(役立つ)情報、薬剤師の仕事内容などを紹介します。この連載を通して、普段みなさんが利用している薬のことや、薬剤師の活用方法を是非知って頂きたいと思います。

初回は、

入院時に「なぜ普段飲んでいるお薬を持ってくるのか？」

その理由について紹介します

南部病院では、定時入院の患者さんを対象に、入院受付終了後、「入院持参薬確認コーナー」にて、常用薬の確認をしています。

この仕事は、患者さんが普段飲んでいるお薬をチェックすることで、入院後の治療計画に役立てたり、同じ薬を処方しないように、入院中の薬の安全管理のために実施しています。

- 入院時は普段飲んでいる薬のみ持参下さい。
- お薬は実物を確認させていただきます。必ず実物をお持ちください。
- 入院日数が決まっている場合は日数分お持ち下さい。
- お薬手帳や、お薬説明書がありますと、確認がスムーズに行うことができます。

南部病院に入院の際は、当日にお持ち下さいますようお願い致します。



ご存知ですか？

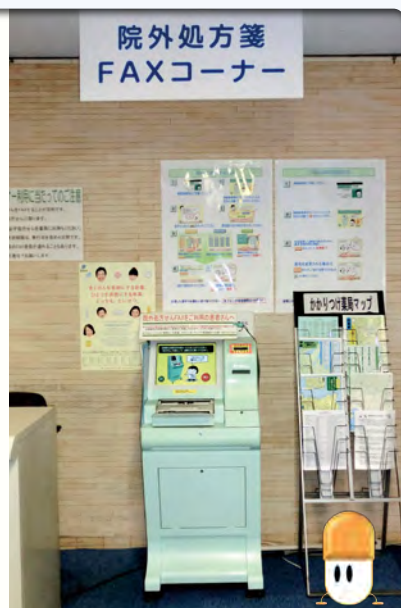


院外処方せんを南部病院から、かかりつけの保険薬局にFAX できることをご存じでしょうか？

あらかじめ FAX することで、患者さんが保険薬局に行くまでの間に、保険薬局薬剤師がお薬の調剤、在庫確認ができ、患者さんのお薬の待ち時間を短縮することができます。

この FAX は、港南区薬剤師会が運営しており、「無料」にて送付できます。薬剤師会の案内係が午前 9 時～午後 17 時までご案内します。ぜひご活用ください!!

注) 病院近くの薬局などそのまま持参したほうが早い場合もあります。



美味しく食べる食事療法



管理栄養士 志波 郁子

食事療法に関する話題を 4 回にわたりご紹介することになりました。食事療法は科学的に証明された治療法の一つで、糖尿病、高血圧、慢性腎臓病等の生活習慣病ではかなりの治療効果を上げています。事実、管理栄養士の説明通りに食事療法を実行し、驚くほど症状が改善したという患者さんは多くいらっしゃいます。しかし、食事療法には「制限の多い、我慢を伴う食事」というイメージがあるようで、次第に継続ができなくなり、中断することもままあります。食事はある程度美味しく、満足感を得られることが求められます。食事療法においても同じことが言えます。

栄養部ではさまざまな食事療法の説明を行っていますが、特に多いのが糖尿病と慢性腎臓病の 2 つです。糖尿病の食事は「量が少なく、好物がおなか一杯に食べられない」、慢性腎臓病の食事はたんぱく質や食塩の制限が厳しく、油や甘いものでエネルギーをしっかりと摂る必要があるため、「制限が多く、おかずが少なく」と思われています。

美味しく食べるためには、調理の工夫が必要になり、具体的な調理方法の説明も必要になります。今回は 2 月の糖尿病患者会の料理実習で紹介した糖尿病食と 4 月の慢性腎臓病講習会で説明した献立をご紹介します。両者の献立は似ていますが、栄養成分が異なり、使用する食材や調理に工夫をしています。

献立の詳細、作り方は当院ホームページ(栄養部)に掲載いたしました。まずは糖尿病食を作ってみて下さい。

糖尿病食 ①適正なエネルギー量 ②栄養バランスが良い ③野菜たっぷりの健康食で普通の食事

●糖尿病患者会の調理実習の献立 エネルギー 500kcal、たんぱく質 20g、食塩 2.1g



- ・小豆しらすご飯
- ・沢煮椀
- ・鶏ハンバーグ ちんげん菜添え
- ・もやしのカレー風味サラダ
- ・フルーツゼリー

※ 0 kcal の甘味料を使用
※ 使用した野菜は 10 種類



満腹
で～す

患者、病院スタッフ、実習生 13 名で 5 品を作り、糖尿病内科の高橋先生、堀井先生が加わり 15 名での食事会となりました

慢性腎臓病食になると「低たんぱく質・高エネルギー」の食事になります

慢性腎臓病食

①食塩の制限、②たんぱく質量の制限、③エネルギー量の確保(糖尿病食より約 200kcal/日増加) また、「たんぱく質の量を減らした治療用特殊食品」の使用が必要となります

●慢性腎不全食講習会の献立 エネルギー 630kcal、たんぱく質 15g、食塩 1.9g



- ・ふきと桜えびのごはん
- ・沢煮椀
- ・鶏ハンバーグ ちんげん菜添え
- ・フルーツゼリー

※ごはんは「低たんぱく米」を使用
※肉の量が糖尿病食より少ない



偶数月の第 2 火曜日に行っている慢性腎不全食講習会です。4 月で 164 回目となりました。食事療法に熱心な患者さんが多いです。

次回は「実行するほど体にやさしい減塩」を予定しています

かかりつけ医をもちましょう

南部病院では、症状の安定した患者さんに
「かかりつけ医」をもつことをおすすめしています



かかりつけ医って？

南部病院では症状の安定した患者さんには、かかりつけ医で診療を受けることをおすすめしています。

かかりつけ医は医療に関するすべての面倒を診てくれる地域のお医者さんです。普段から信頼できるかかりつけ医を見つけておけば、ちょっとした体調の変化も気軽に相談できて、病気の早期発見にもつながります。また、入院や検査が必要な時は南部病院を紹介してくれます。



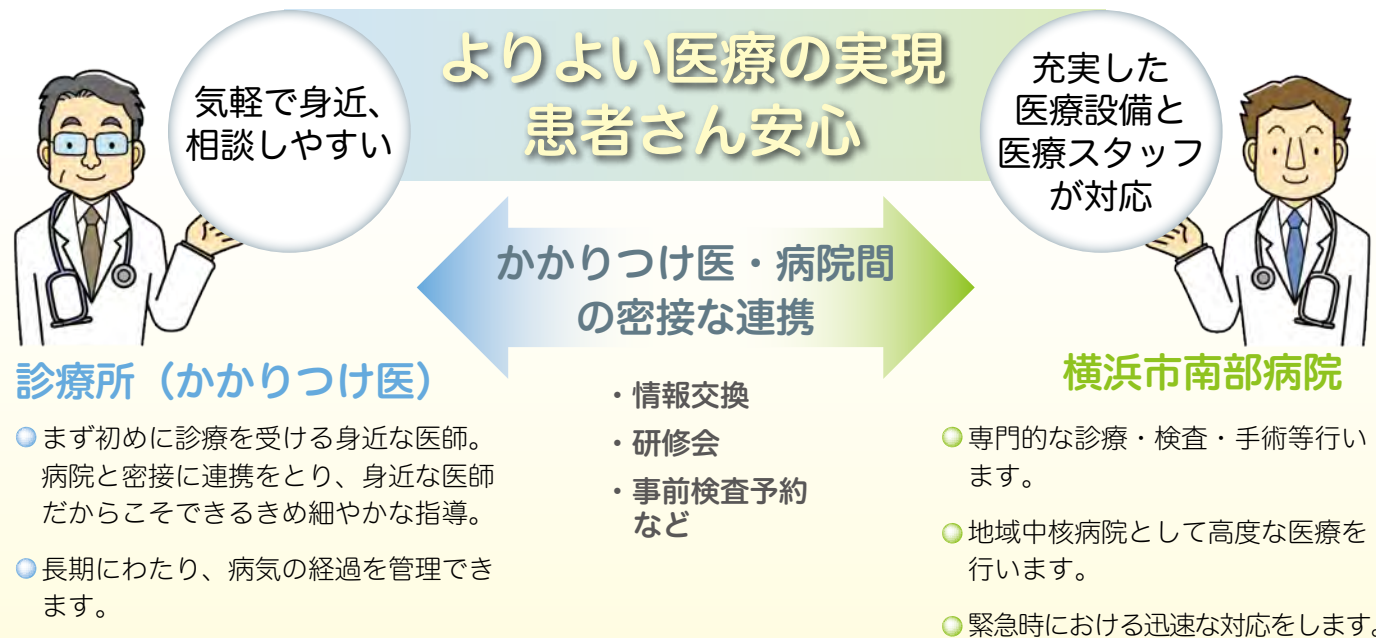
かかりつけ医をおもちでない方は？

症状の安定された患者さんで、かかりつけ医をおもちでない場合は、主治医へご相談の上、当院『かかりつけ医ご案内コーナー』へお立ち寄りください。地域医療連携室スタッフがご案内いたします。

患者さんの健康を地域で見守ります

済生会横浜市南部病院「病診連携システム」

済生会横浜市南部病院では、患者さんの健康と安心を、診療所（かかりつけ医）及び病院の医師が、一緒に見守っていきます。



根岸線全線開通（港南台駅・本郷台駅） 開業 40 周年

記念イベントに 南部病院も参加しました！



港南台駅長挨拶

4月20日（土）午前 10 時から午後 2 時まで J R 港南台駅前及びパース・ダイエー間の庭園広場で J R 根岸線全線開通記念（港南台駅・本郷台駅開業 40 周年）イベントが開催され、南部病院からも「南部病院の災害対策の取り組み」のパネル展示と体験コーナーとして血管年齢測定、心肺蘇生講習会が行われました。

血管年齢測定は参加者の関心が高く、午前中約80人の方が測定し、結果に一喜一憂していました。午後から行われた心肺蘇生講習会では救急診療科の豊田部長がデモ用 A E D を使用し心肺蘇生の講習を行いました。参加者はマラソン大会で A E D によって命が助かった事例などを記憶していて、いざとなった時のための訓練を真剣に受けていました。

今年の 1 月、成人の日に当院の木川医師が J R の車内で心肺停止になった乗客の人命救助をしたニュースのパネルも展示され、参加者の関心を集めていました。今回体験コーナーに参加された子供連れの主婦は、「子供の命を救えればとの思いで、新生児マネキンを使った体験訓練に参加しました。どのくらいの力で心臓マッサージをするのか体験できてよかった」と感想を述べていました。



ハマの電ちゃん



南部病院ブース



心肺蘇生講習



血管年齢測定

《紹介外来制のご案内》

泌尿器科、外科が新しく紹介外来制となりました

当院では初診外来は原則として、紹介外来制をとっており、新たに泌尿器科は3月1日、外科は4月1日より紹介外来制になりました。

患者さんはまず地域のかかりつけ医を受診していただき、より詳しい検査や入院、手術など専門的な医療が必要と判断された場合に当院の専門診療科をご紹介いただいたうえで受診をお願いしています。

かかりつけ医からの紹介状をお持ちの上、ご来院いただきますよう、よろしくお願いいたします。

《紹介患者予約制度のご案内》

紹介患者予約制度とは、医療機関より紹介状を受け取った患者さんが地域医療連携室に電話で診療の予約ができるサービスです。また、このサービスをご利用されると、診療の待ち時間が大幅に短縮されます。

※予約は医療機関、患者さん本人もしくはご家族からお受けいたします。

地域医療連携室 TEL：045-832-8337（受付時間：午前9時～午後5時）

南部病院からのイベント情報（5月から7月）

【心肺蘇生講習会】

日 時：5月16日（木）、6月20日（木）、7月18日（木）
午前11時30分～

場 所：南部病院
1階待合ホール総合案内付近
お問い合わせ：南部病院救急診療科
TEL：045-832-1111（代）



【第122回 南部病院コンサート、フラメンコライブ】

日 時：5月18日（土）午後2時～
場 所：南部病院1階 待合ホール総合案内付近
出 演：スタジオセルパティージャ
小池重子と仲間たち
お問い合わせ：南部病院事務局 経営企画課広報担当
TEL：045-832-1111（代）



【狭心症、心筋梗塞から身を守るためのお話】

日 時：5月18日（土）午後2時～4時
場 所：横浜市港南台地域ケアプラザ、多目的ホール
講 師：南部病院 循環器内科医長 三橋孝之 医師
お問い合わせ：横浜市港南台地域ケアプラザ TEL：045-834-3141 ※先着50名

【貧血のお話】

日 時：6月15日（土）午後2時～4時
場 所：横浜市港南台地域ケアプラザ、多目的ホール
講 師：南部病院 血液内科部長 藤田浩之 医師
お問い合わせ：横浜市港南台地域ケアプラザ TEL：045-834-3141
事前に電話か直接来所にて予約をお願いします。

【AEDと心臓マッサージの講習会】

日 時：7月6日（土）、8月3日（土）
各日、午前11時30分～午後12時30分
場 所：横浜市港南台地域ケアプラザ、多目的ホール
お問い合わせ：横浜市港南台地域ケアプラザ TEL：045-834-3141
事前に電話か直接来所にて予約をお願いします。

30周年記念イベント

【南部病院看護フェスティバル】（仮称）

日 時：6月13日（木） 14日（金）
午後1時～6時30分
場 所：港南台パースドゥファッション広場
内 容：看護相談、血管年齢測定、
お薬相談、ちびっこナース写真撮影コーナーなど
お問い合わせ：南部病院 TEL：045-832-1111（代）

【ブラック・ジャックセミナー】

日 時：8月17日（土）
午後1時30分から4時30分
場 所：南部病院
内 容：手術縫合体験、
最新医療機器体験（超音波メス）、
内視鏡トレーニング体験他
募集方法については、6月に港南区内中学校を通じて募集予定。
お問い合わせ：南部病院経営企画課
TEL：045-832-1111（代）



南部病院の基本方針

- 良質な地域医療、救急医療による地域への貢献
- 他の医療機関との密接な連携と、患者さん中心の医療の実践
- 医療・保健・福祉サービスの総合的な提供
- 地域医療関係者及び職員の相互研鑽



院外広報誌「なんふメール」をリニューアルし、多くの皆様にお届けできるよう内容も一新して創刊号として発行しました。今までは病院内で配布していた2ページの紙面でしたが、創刊号は12ページ（通常は8ページ）で作成しました。年4回（5月、7月、10月、1月）の予定で発行します。南部病院からの診療や新しい医療情報など皆様にわかりやすくお伝えしたいと考えています。ご意見等ございましたら事務局広報委員会までお寄せください。これからも「なんふメール」をよろしくお願いいたします。



社会福祉法人 済生会横浜市南部病院

〒234-8503 横浜市港南区港南台3-2-10

TEL：045-832-1111（代表）

FAX：045-832-8335

発行人：院長 今田 敏夫

編集：南部病院広報委員会

平成25年5月発行